

博物館ニュース 18-6

2007.03.12

お客様の 短歌よい

その日は「博物館のこと」を詠んだ短歌が新聞に載った。と知らせに来て下さいました。慌てて新聞を探し、歌のページをめくるとその歌はありました。「大学の博物館に時々に行きて学びて今年終われり」

「J-んにちは」と、山形大学附属博物館に響く声。館員ならば振り返らずとも、「この声の持主が誰か、すぐにわかるほど」の常連のお客様。

そのお客様にとっては、何気ない日常の一コマを綴った歌なのでしょう。

しかし館員が何よりも嬉しいのは、まさにその点にあるのです。博物館に来る事などを日常と感じていただけている事、大変有り難く思いました。

まだ博物館に足を運んだ事のない方、一度博物館へ来てください。何か気になつた事、不思議な事があつたら展示室隣の事務室にいつでも声をかけてください。そして博物館へ通いましょう。

ただ、お客様の歌には一つ間違いが。様々な教えを受け、学ばせていただいているのは館員なのです。お客様とともに

大学の博物館に

時々に行って学びて

今年終わり

に成長する館、そんな博物館でありたいと思います。

まだ博物館に足を運んだ事のない方、一度博物館へ来てください。何か気になつた事、不思議な事があつたら展示室隣の事務室にいつでも声をかけてください。そして博物館へ通いましょう。